

Q：新庁舎の道路整備の進捗状況について

A：旧岡中線・岡口3号線の整備を重点的にすすめ、事業に取り組んでまいり。

益田吉博議員



今後の五條市政全般について （上水道の水利権について）

益田 今五條市では、安定水利権、慣行水利権、また暫定水利権ということで、取水しているが、大滝ダム建設時に五條市が費用負担をしていないということ、津風呂ダムの水を不足分として使うという話だったかと思う。五條・吉野・下市等の組合組織で水道事業をするということで、県と協議を行っているという聞いています。

水道局長 現在五條市が取水量として毎秒0・164立米のうち毎秒0・065立米は安定水利権、不足分は現在国土交通省より暫定水利権として取得している。平成29年度末で暫定水利権の期限を迎えるため、安定水利権を取得する必要がありますが、現在奈良県と協議を行い、国営農業用水再編対策

事業の完了で発生する余剰水利の有償譲渡による安定水利権の取得を検討している。

益田 暫定水利権は平成29年度までという契約は県とできているのか。

水道局長 県との覚書で平成30年4月までとなっている。水利権としてどこかの水利を確保しなくてはならないため、今までは18億という中で、大滝ダムの方の水利権を確保していたが、それより安い国営農業再編事業の水利権を確保することになった。

益田 以前から話しているように農林水産省の一ノ木ダムの水が余っているの、それを買って上水に使ったかどうか。しかし一ノ木ダムは10年ごとに事業の計画の見直しがあり、現在3年経過しているので、あと7年ある。

同じお金を出すなら五條

市にある一ノ木ダムにもとを入れたらいいのではと思う。五條市は日本一の柿産地と言っているのだから。

（新庁舎の関連道路整備について）

益田 新庁舎建設予定の旧五條高校の跡地へのアクセス道路、旧岡中線・岡口3号線、市政報告では、（仮称）東阿田西阿田線と市道大津相谷線と、この新庁舎へのアクセス道路について市道としては重要路線、重要課題で取り組んでいくということだった。この3箇所については甲乙付け難いとは思いますが、進捗状況について伺う。

都市整備部長 市道旧岡中線の道路改良、市道岡口3号線道路改良を今後も重点的に進めてまいり。

進捗状況については、市道旧岡中線は、今年度は11月をめどに一部工事を着手し、北側の用地測量を実施

市道岡口3号線の進捗については、本年4月末に道路法線が決定し、現在地元交渉に着手している。

今年度は道路詳細設計に着手するとともに、御了解を得たところから用地測量を進めてまいり。今後とも、優先順位の中でこの2路線の整備を重点的に進め、事業に取り組んでまいり。



他の質問事項

（今後の五條市政全般について）

- ① 学校適正化について
- ② 賀名生分校について
- ③ 新市営墓地について
- ④ 財政健全化について



岩本 孝議員

Q: がん検診の受診率向上への取組について

A: 地域巡回による検診や夜間の検診実施等、受診しやすい環境づくりを行ってまいりたい。

がん検診について

岩本 がんは、ここ30年来、日本人の死因の第一位を占める病気と言われている。

誰しもがかかかってしまう可能性もある病気と言っても過言でない。五條市が取り組んでいる「がん検診」での個人の負担額を尋ねる。

すこやか市民部長 個別検診は、大腸がん400円、胃がん3,000円、子宮がん2,000円、乳がん2,300円の負担で受けていただける。集団検診は、大腸がん200円、胃がん・子宮がん1,000円、乳がん1,300円の負担、個別の胃がん検診を除き70歳以上の方は無料、肺がん検診は全ての方が無料となっている。

岩本 受診率を向上させ、がんを早期発見することが極めて重要である。受診率向上への取組について尋ねる。

すこやか市民部長 40歳から70歳の方への個別案内や、

広報・ホームページ等への掲載、回覧文を配布しながら行っている。今後も、地域巡回による検診、夜間の大腸がん検診の実施など、受診しやすい環境づくり等、受診率の向上に取り組んで行きたい。

有害鳥獣対策について

岩本 農作物に大きな被害を及ぼす有害獣、特にイノシシ、鹿、アライグマ等の捕獲状況と被害防止対策事業について尋ねたい。

産業環境部長 平成23年度から平成28年度までの実績、イノシシ4,656頭、鹿2,348頭、アライグマ769頭、総合計7,773頭を捕獲。防止対策事業について、防護柵（金網・ネット・電気）において、平成22年度から累計232団体、延長253km、事業費3億1千8百万円の整備を実施した。平成29年度は、59団体、延長97km、事業費1億2千6百万円の整備を計画している。

岩本 有害獣を捕獲するハントの育成についてお尋ねする。

産業環境部長 平成28年度の狩猟免許の取得は14名、平成28年度より狩猟免許を新規取得された市民を対象に講習料の2分の1を補助した。

岩本 ジビエール五條のジビエ肉等の販売状況についてお尋ねする。

産業環境部長 ジビエ肉は約1トンの冷凍庫では市場ニーズに対応できなくなつたためコンテナ冷凍庫を導入、容積を3倍に拡大する。平成28年度は、食肉に加え、柿を入れたジビエカレーを8,000食製造し、まもなく発売する。本年7月、イノシシ・鹿のくん製肉を発売する計画している。

公用車の管理について

岩本 現在の公用車の台数と運行管理体制について尋ねる。

総務部長 公用車の台数は、

管財課・各課で153台を管理、車検・法定点検は管財課で一括集中管理方式としている。運行管理は公用自動車等運行管理規定を定め対応している。

岩本 安全運転教育について尋ねる。

市長公室長 安全運転管理者及び副安全運転管理者を設置、年一回安全運転管理者講習を受講。職員には運転免許証の確認及び乗車前点検と安全運転の周知を徹底している。

防災無線について

岩本 未設置箇所や聞こえにくい地域への対応について尋ねる。

危機管理監 市内120箇所に屋外拡声子局を設置。音が聞こえにくい場所等については、現地調査のうえ屋外スピーカーの方向等を調整し、子局から遠く離れている地域については、近隣のスピーカーの方向やスピーカータイプの変更により対応して行きたい。



養田全康議員

Q: 今後の幼保一体化について

A: 市全域で2から3か所整備することが適切と考えている。

五條市の公園整備について

養田 市が管理しないといかない公園の数はいくつあるのか、また中央公園をどの様に発展させ、そして上野公園をどのように維持修繕し、ネーミングライツ（命名権）の導入は考えていくのか。

都市整備部長 現在市が管理している公園は都市公園165箇所、市立公園14箇所、児童遊園地45箇所。中央公園には幼児や小学生が水に親しめる噴水などの親水広場等を設置する施設拡充計画・基本設計業務委託を完了し、また夏頃までに実施設計業務を発注予定。

上野公園については野球場の改修、サッカー場の観客席等、公園運営及び整備検討委員会に諮っていきネーミングライツは指定管理を含め考えていく。

幼保一体化について

養田 今後、幼保一体化し

ていく中で幼稚園、保育所では保育士の配置基準など国の基準に違いがあるがどの様にしていくのか、また保育士の確保が困難な状況と思うがどのような対策をとるのか。

あんしん福祉部長 保育士の数は国の基準を満たしている。一体化後も幼稚園も保育所もそのままの基準である。保育士の確保は全国的に深刻な不足となっていて本市も大きな課題であり、広報やハローワークに掲載していきたい。

養田 本市の小・中学校の耐震補強はできているが、保育所・幼稚園は耐震補強ができていないと思う。園児が避難するのは小・中学生より時間が必要と考える。耐震検査もしていない建物があるがしてもらえないか、また、今後の幼保一体化をどう考えるのか。

あんしん福祉部長 4保育所については補強が必要で

1 保育所については耐震診断を検討する。

教育部長 幼稚園についても1幼稚園で補強が必要。幼保一体化については市全域で2から3箇所整備することが適切と考えている。

学校適正化について

養田 部活動のあり方について、現在、複数の部活動で合同チームが編成されている。しかし3チーム以上の合同チームでは近畿大会に出場できないことや、各大会でチーム編成が変わるなど検討課題が多いと考える。

教育部長 本市は奈良県中体連に所属し、中体連では少人数の部活動による救済処置で2校の合同チームが望ましいとされているが、3チーム合同でも近畿大会出場を認める方向で検討されている。

要介護者について

養田 要介護・要支援者数

はどのくらいか、増加傾向にあるのか。またその中の介護タクシー利用者の数について尋ねる。

あんしん福祉部長 要介護要支援者は全体で2,392人となっており増加傾向にあり、介護タクシー（通院等乗降介助）利用者は92名である。

養田 介護タクシーは一部国から補助があると思うが五條病院の縮小にあたり奈良総合医療センターに行かざるを得ない要介護者については、本市が奈良総合医療センターに医療機関を移した経緯があり補助をするべきと考えるが。

あんしん福祉部長 今後、他市町村の補助内容も踏まえて検討する。

以上の質問とともに、次の質問も行いました。

1. ドクターヘリの運用状況について
2. 障害者雇用について

Q: イノシシなどの捕獲用柵の設置について



吉田雅範議員

A: 今年度は防護柵3kmとテキサスゲート3か所の整備を計画している。

食肉処理加工施設（ジビエール五條）の現状について

吉田 金網柵や電気柵等アライグマ・鹿・イノシシなどの捕獲用柵の設置について、農家の方々は大変喜んでいて。柵やテキサスゲートの今後の支援の予定について伺う。

産業環境部長

平成28年度は五條吉野土地改良区で防護柵6kmとテキサスゲート4箇所を整備、平成29年度は防護柵3kmとテキサスゲート3箇所を整備を計画している。

吉田 鹿、イノシシの昨年の食肉として販売した数量、また頭数について尋ねる。

産業環境部長

平成28年度捕獲実績は、イノシシ捕獲数497頭、搬入数203頭、搬入率41パーセント、鹿捕獲数108頭、搬入数84頭、搬入率78パーセントで、市場に流通した平成28年度の食肉流通量は、イノシシ2,316kg、鹿97

5kg、計3,291kg。

吉田 食肉以外の肉の量と処分方法等について尋ねる。

産業環境部長

平成28年度の食用外捕獲獣はイノシシ294頭、鹿24頭、合計318頭、食用外捕獲獣は現在廃棄している。



吉田 有害な動物といえども一つの大切な命、余すところのないように、捨てる

肉を加工して販売するなど、今後、ペットフードや飼料等に加工される施設は考えているのか尋ねる。

産業環境部長

食肉処理する過程で発生する精肉以外の部分は、ペットフード店に提供するなど、可能な限りの利活用を行っている。

新たな加工施設を整備する補助金には、国の交付要領で投資率、費用対効果が1.0以上という決まりがあるので慎重に検討する。

吉田 前向きに検討をお願いする。

入札方法について

吉田 入札には一般競争入札や指名競争入札など様々な入札があるが、し尿処理施設クリーン・オアシスの入札内容、契約方法について尋ねる。

副市長

クリーン・オアシスの入札方法は、本体工事では設計施工一括方式の発注方法を採用、一般競争入札で受注者を決定している。
吉田 現在までの報告でクリーン・オアシスにおいて、建物に発生したクラック（ひび割れ）が196箇所と聞く。それにもかかわらず、ごみ中継施設建設設計に一般競争入札ではなく、このクリーン・オアシスの受注者を指名競争入札に

参加させたのはなぜか、その理由を尋ねる。

副市長

指名停止のはつきりした事実が確認されなければ停止措置にはならない。入札の審査会において、指名停止という処分がない限り入札から外すことはない。
吉田 今現在クリーン・オアシスにおいては現実にクラックの問題がある、その辺も踏まえて今後の指名競争入札のときには充分注意していただきたい。



(クリーン・オアシス)

【その他の質問】

大塔町の復旧・復興について